

牧の原小学校の学校適正配置シミュレーション（案）について

1 牧の原小学校の現状

学区内における児童数の推移は増加傾向にあり、現在、印西牧の原駅周辺の住宅開発が急速に進んでいることから、今後もさらなる増加が見込まれている状況です。

また、学級数及び学校適正規模については、令和2年度には16学級の適正規模校であるが、令和4年度には26学級となり、その後、学級数は増え続け、令和7年度にはピークである37学級となるため、学校適正配置の大規模校の検討対象校に該当することになります。

これにより、施設教室数の不足が予測されるため、社会増を含めた児童数の推計を注視するとともに、印西市学校適正規模・適正配置基本方針の考え方にに基づき適切な対応を図る必要があります。

2 牧の原小学校の学校適正配置シミュレーション（案）

学校施設の増改築により必要な教室数を確保するとともに、学区内で新たな住宅開発が進められる場合は、隣接学区との通学区域の見直しを図ります。

【牧の原小学校の学区】

